



MUFG通信

2019年度中間期(2019年4月1日～2019年9月30日)

三菱UFJフィナンシャル・グループ

URL : <https://www.mufg.jp/>

証券コード : 8306



社長メッセージ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り
厚く御礼申し上げます。

私から、2019年度中間期の業績および
今後の取り組みについてご説明します。



▶ 2019年度中間期の業績について

2019年度中間期は、市場関連収益の増収を主因に、業務粗利益は前年同期比907億円増加の1兆9,733億円となりました。営業費は、国内では抑制を続けているものの、海外での業容拡大や規制対応コスト等の増加により、前年同期比275億円の増加となりました。この結果、業務純益は前年同期比で631億円増加の6,313億円となりました。本年度は、減少が続いている業務純益の反転をめざしていますが、上期は4期ぶりに業務純益が増加に転じました。

前年に計上した貸倒引当金の戻入の反動等もあり、親会社株主中間純利益は、前年同期比408億円減益の6,099億円となりました。期初にお示した通期業績目標9,000億円に対する進捗率は67.8%です。

経営の健全性を表す自己資本比率は、2019年9月末の普通株式等Tier1比率が12.68%と、引き続き十分な水準を確保しています。

株主還元の充実は私どもの主要経営課題の1つです。資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努める方針としています。

2023年度までに配当性向40%への引き上げをめざしており、2019年度中間期の1株当たり配当は、期初予想の通り12.5円とし、年間での配当予想は25円

を維持します。併せて、500億円の自己株式取得を行い、取得する株式は全量売却します。資本の健全性をしっかりと維持しつつ、タイトな資本運営を継続していきます。

▶ 持続的な成長に向けて

MUFGは、取り巻く大きな環境変化を乗り越え、持続的な成長に回帰すべく、構造改革「MUFG再創造イニシアティブ」に取り組んでいます。

デジタルイノベーション戦略では、米国Akamai社との戦略的な提携関係を強化し、「Global Open Network Japan」を設立、大量・高速決済サービスの2020年上期の提供をめざしています。チャンネル戦略では、スマートフォンアプリで完結する手続きの範囲を順次拡充させており、デジタル技術を活用した利便性の向上に取り組んでいます。また、2019年9月からは、三井住友銀行と店舗外ATMの共同利用を開始しました。これにより、お客さまに三菱UFJ銀行のATMと同じ手数料でご利用いただけるATMの台数が飛躍的に増加しました。

戦略出資に関しては、インドネシアのバンクダナモンの子会社化や豪州大手アセットマネジメント会社の株式取得の完了など、市場成長の取り込みに向けた対応を着実に進めると共に、グループ内のシナジー最大化に努めていきます。

MUFGは、変わりゆく環境の中で、再創造をめざす途上にあります。取り巻く経営環境は引き続き厳しいものがありますが、「新しい信頼をつくろう」を合言葉に、お客さまの真のニーズ・期待にお応えする商品・サービスを提供していきます。「グローバルに信頼・信用され、イノベーションを象徴する存在」の実現をめざし、企業価値の向上に努めてまいりますので、今後とも皆様のご理解と一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年12月

取締役

代表執行役社長 グループCEO

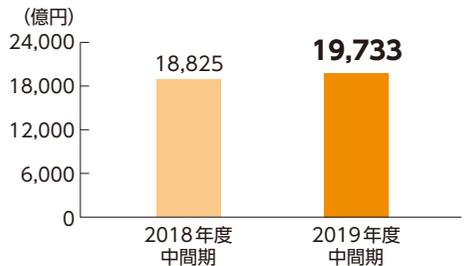
三毛 兼 承

2019年度中間期決算ハイライト

✓ 決算のポイント

- 親会社株主に帰属する中間純利益は6,099億円と、期初設定の通期業績目標9,000億円に対する進捗率は67.8%
- 貸出金は前年度末比1.2兆円の減少、預金は0.4兆円の増加
- 普通株式等Tier1比率は12.68%と、十分な水準を維持

連結業務粗利益



金利低下影響により資金利益が減少しましたが、債券関係損益が増加し、前年同期比907億円増加しました。

与信関係費用総額*

前年に計上した貸倒引当金の戻入の反動により、前年同期比1,360億円増加し、180億円の費用計上となりました。

* 与信関係費用(信託勘定) + 一般貸倒引当金繰入額 + 与信関係費用(臨時損益) + 貸倒引当金戻入益 + 偶発損失引当金戻入益(与信関連) + 償却債権取立益

■ 損益の状況(連結)

● 連結業務粗利益(信託勘定償却前)	
営業費(△)	
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	
● 与信関係費用総額(△は費用)	
経常利益	
親会社株主に帰属する中間純利益	

■ 資産・負債の状況(連結)

資産の部合計	
貸出金(銀行勘定)	
有価証券	
うち国債	
負債の部合計	
預金	
純資産の部合計	

■ 自己資本の状況(連結)

普通株式等Tier1比率	
Tier1比率	
総自己資本比率	

	2018年度中間期 (2018年4月~9月)	2019年度中間期 (2019年4月~9月)
(単位:億円)		
連結業務粗利益	18,825	19,733
営業費	13,144	13,420
連結業務純益	5,681	6,313
与信関係費用総額	1,179	△180
経常利益	8,859	7,952
親会社株主に帰属する中間純利益	6,507	6,099

(単位:億円)

	2018年度末	2019年度中間期末
資産の部合計	3,111,389	3,144,800
貸出金(銀行勘定)	1,074,124	1,061,892
有価証券	642,624	618,407
うち国債	226,430	201,231
負債の部合計	2,938,772	2,965,975
預金	1,801,712	1,806,635
純資産の部合計	172,616	178,824

(単位:億円)

	2018年度末	2019年度中間期末
普通株式等Tier1比率	12.23%	12.68%
Tier1比率	13.90%	14.33%
総自己資本比率	16.03%	16.64%

営業費

海外での業容拡大や規制対応コスト等により、前年同期比275億円増加しました。

親会社株主に帰属する中間純利益



前年同期比408億円減少し、6,099億円となりました。

貸出金・預金



貸出金残高は、国内法人向け貸出の減少を主因に、前年度末比1.2兆円減少しました。預金残高は、個人預金および海外預金の増加により、前年度末比0.4兆円増加しました。

自己資本比率(バーゼルⅢ)

普通株式等Tier1比率*は、12.68%と引き続き十分な水準を確保しています。

* 普通株式等Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金)÷リスク・アセット

(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

資本政策

株主還元の基本方針

資本の健全性や成長のための投資との最適バランスを検討した上で、配当を基本として株主還元の充実に努めます。

配当

利益成長を通じた1株当たり配当金の**安定的・持続的な増加**を基本方針とし、**配当性向は40%をめざします**

➔ 2023年度までに配当性向40%への引き上げをめざします

自己株式取得

自己株式取得は、資本効率の向上に資する株主還元策として、**機動的に実施します**

➔ ①業績・資本の状況 ②成長投資の機会
③株価を含めた市場環境、を考慮します

➔ 格付A以上の確保に必要な資本水準を、安定的に維持できる見通しを確認します

自己株式消却

保有する自己株式の総数の上限を、**発行済株式総数の5%程度を目安**とし、それを超える数の株式は、原則として消却します

配当・自己株式取得

2019年度中間期の配当は、期初予想の通り12.5円とし、年間での配当予想は25円を維持します。この結果、配当性向は35.9%に上昇する見込みです。併せて500億円の自己株式取得を行い、取得する株式は全量消却します。



本ページでは、MUFGのさまざまな最新ニュースをご紹介します。

三井住友銀行との店舗外ATM共同利用開始

三菱UFJ銀行は、2019年9月から、三井住友銀行と店舗外ATM^{*1}の共同利用を開始しました。両行の店舗外ATMは国内に計2,818拠点^{*2}あります。これらの店舗外ATMを、現在口座をお持ちの銀行のATMと同水準の手数料でご利用いただけます。

両行は近接する一部拠点の廃止を検討しており、お客さまの利便性を高めつつ、同時にコストの削減をめざしていきます。



2019年9月22日(日)より
両行のカードが時間内
無料 ご利用いただけます。(以下のお取引)
お引き出し お預け入れ 残高照会
SMBC 三井住友銀行 MUFG 三菱UFJ銀行

※1 店舗外ATMとは、無人拠点のATMを指します(支店ATMやコンビニATMは除く)。対象拠点は両行のホームページでご確認いただけます。

※2 2019年3月末時点

※ 廃止の際は事前にお知らせします。

※ 共同利用の対象となる店舗外ATMコーナーには上記のステッカーを掲示しています。店舗に併設されているATMなどは共同利用の対象外となります。ご利用の際にはこちらのステッカーをご確認ください。

スマートフォンアプリ「MUFG Wallet」

「MUFG Wallet」は、お持ちのカード情報を登録すると、スマートフォンをかざすだけで支払いなどができるスマートフォンアプリです。カード番号はランダムな文字列(トークン)に変換され保管しており、不正アクセスなどによる流出を防ぐことができ、より安心・安全なお買い物が可能となります。

2019年10月には、本アプリに三菱UFJ-VISAデビットの登録が可能となりました。

詳細は以下URLをご覧ください

<https://www.bk.mufg.jp/tsukau/app/wallet/index.html>



代理出金機能付信託「つかえて安心」

三菱UFJ信託銀行は、代理出金機能付信託「つかえて安心」を提供しています。本サービスは、契約者が認知症になっても、大切な資金を家族などと一緒に守りながら便利に“使える”信託商品です。専用のスマートフォンアプリを通じて、契約者だけでなく、予め指定した代理人が資金の払出しを請求することができます。

払出請求があると代理人以外の家族などにも一斉に通知され、払出請求内容や入出金履歴を閲覧することも可能です。

代理出金機能付信託



詳細は以下URLをご覧ください

https://www.tr.mufg.jp/shisan/tsukaeteanshin_01.html

ESG課題への取り組み

MUFGは、環境・社会課題解決と持続的成長をめざし、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)課題に取り組んでいます。

責任銀行原則への署名とサステナブルビジネス室の新設について

MUFGは「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざして、ESGを重視した経営を推進しています。こうした考えと一致することから、MUFGは、国連環境計画・金融イニシアティブが提唱する「責任銀行原則」に署名しました。

また、三菱UFJ銀行は、これまでに蓄積された環境・社会分野に関する知見と経験を集約し、より一層強化すべく、サステナブルビジネスに横断的に取り組む専門組織「サステナブルビジネス室」を立ち上げました。お客さまの事業における中長期的な環境・社会課題に対して、その解決策を共に検討し、情報・機能提供(ESGファイナンス等)を通じて、お客さまの持続的な成長を後押ししていきます。



詳細は、プレスリリースをご覧ください

責任銀行原則への賛同表明について
https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20190822-003.pdf

サステナブルビジネス室の新設について
https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20190822-002.pdf

ワーケーションの導入

MUFGは、在宅勤務やサテライトオフィスといった多様な選択肢を提供し、場所にとらわれない柔軟な働き方を推進しています。

三菱UFJ銀行では、従業員の柔軟な働き方を支援すべく、ワーケーションを導入しました。ワーケーション(workation)とは、仕事(work)と休暇(vacation)を組み合わせた造語で、日常生活とは異なる場所で仕事をする新たな働き方の一つです。現在は南紀白浜、軽井沢、シンガポールにワーケーションオフィスを設けています。



東北海岸林再生プロジェクトへの参画

2011年の東日本大震災の津波により、東北沿岸部の人々の暮らしや農地を風害・塩害などから守っていた海岸林の多くが失われました。三菱UFJニコスは、公益財団法人オイスカが実施する「海岸林再生プロジェクト」に賛同し、ご利用明細書の紙からWEBへの切り替えなど、カード事業を通じたエコ活動推進により削減された費用の一部を寄付しています。また、被災地での海岸林再生プロジェクトには、MUFGグループ各社の従業員もボランティアとして参加しています。



information

「令和元年台風第19号」で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

MUFGは、義援金として、グループ6社で総額1,000万円を寄付しました。

詳細は、プレスリリースをご覧ください

https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20191017-001.pdf

MUFGからのお知らせ

MUFGでは、下記のとおり株主さま向けのセミナーを開催いたします。

1 開催概要

募集対象者 …… 2019年9月末時点で当社株式を1,000株以上お持ちの株主さま
(ご同伴は1名さままで可)

参加費 …… 無料

① 経済セミナー(東京・名古屋・大阪)

開催日 募集人数	【東京】 東京都千代田区	2020年3月2日(月)	各回380名
	【名古屋】 愛知県名古屋市中区	2020年3月18日(水)	各回150名
	【大阪】 大阪府大阪市中央区	2020年3月19日(木)	各回200名
時間	[午前の部] 10:30 ~ 12:00頃 [午後の部] 14:00 ~ 15:30頃		
開催場所	各地域のグループ会社または外部の会議室		
内容	テーマ:「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 研究理事 五十嵐 敬喜氏		 五十嵐 敬喜氏

② 相続セミナー(東京)

開催日 募集人数	2020年3月17日(火) 200名	
時間	19:00 ~ 20:15頃	
開催場所	東京都千代田区内の会議室	
内容	テーマ:「相続のいろは ~民法改正をふまえて~」(仮題) 三菱UFJ信託銀行のトラストファイナンシャルプランナーが事例を交えて解説します。	

2 動画配信

セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。パソコン・スマートフォン等からご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

- ▶ **リンク先情報**
当社ホームページ内『動画配信』(<https://www.mufg.jp/ir/investors/movie/>)
- ▶ **ユーザー名** mufg
- ▶ **パスワード** 202003
- ▶ **配信期間**
経済セミナー: 東京会場終了後、1ヵ月間
相続セミナー: セミナー終了後、1ヵ月間

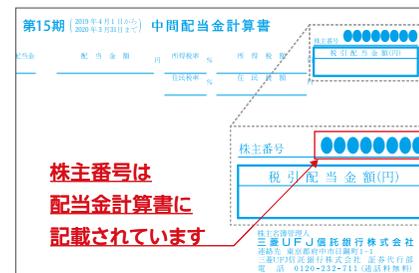
3 応募要領

応募方法: 同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 2019年12月20日(金) 消印有効

ご記入要領

- ご希望のセミナーおよび開催日時を**いずれか1つ**選択してください(**複数選択、無選択は無効**)。
- 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(同封の「配当金計算書」または「配当金領収証」の右上8桁の番号)をご記入ください。
- ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
- 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。



抽選の上、当選された株主さまには2020年2月にご招待状をお送りいたします。
なお、抽選の際は過去にご当選経験の少ない株主さまを優先させていただきます。

◎ご注意◎

- 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
- 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただけます。
- 応募時に必要事項の**記入漏れ**があった場合には、**無効**となりますのでご注意ください。
- やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先: 株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG株主倶楽部
専用デスク **0120-321-629**
(通話料無料)

代表電話 **03-3240-8111**
(通話料有料)

受付時間: 土・日・祝祭日を除く 9:00~12:00、13:00~17:00

会社情報 / 株式情報

取締役・執行役 (2019年9月30日現在)

取締役	取締役*	執行役	執行役専務
取締役* 藤井眞理子	取締役* 山手 章	執行役会長 平野 信行	執行役専務 横川 直
取締役* 加藤 薫	取締役 黒田 忠司	代表執行役副会長 池谷 幹男	執行役専務 二重 孝好
取締役* 松山 遙	取締役 岡本 純一	代表執行役副会長 荒木 三郎	執行役専務 長島 巖
取締役* Toby S. Myerson トビー・S・マイヤソン	取締役 平野 信行	代表執行役社長 三毛 兼承	執行役常務 林 尚見
取締役* のもと ひろみ 野本 弘文	取締役 池谷 幹男	代表執行役副社長 亀澤 宏規	執行役常務 半沢 淳一
取締役* のくと つとむ 奥田 務	取締役 荒木 三郎	執行役専務 徳成 旨亮	執行役常務 亀田 浩樹
取締役* しんがい 康司 新貝 康司	取締役 三毛 兼承	執行役専務 安田 正道	執行役常務 小倉 律夫
取締役* Tarisa Watanagase タリサ・ワタナガス	取締役 亀澤 宏規	執行役専務 藪田 健二	執行役常務 桑原 昌宏
		執行役専務 堀 直樹	執行役常務 森 浩志
		執行役専務 宮地 正人	

* 取締役のうち、藤井 眞理子、加藤 薫、松山 遙、トビー・S・マイヤソン、野本 弘文、奥田 務、新貝 康司、タリサ・ワタナガス、山手 章の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 / 中間配当金 9月30日
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL : https://www.mufg.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
上場証券取引所	東京、名古屋、ニューヨークの各証券取引所
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)
	事務取扱場所
	お問い合わせ先・郵便物送付先

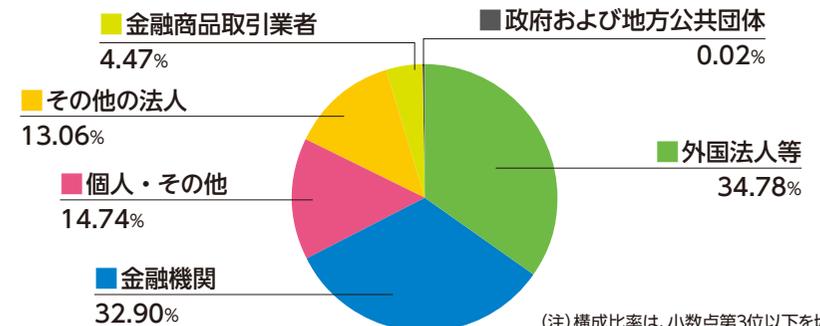
■ 株式に関するお手続き

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、お取引の証券会社等にお問い合わせください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

株式の状況(普通株式) (2019年9月30日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	13,667,770,520 株
	株主数	716,544 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

順位	株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	805,425,800	6.21
2	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	687,625,200	5.30
3	SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	345,345,078	2.66
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	271,991,700	2.09
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	234,635,900	1.81
6	GOVERNMENT OF NORWAY (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	204,314,125	1.57
7	JP MORGAN CHASE BANK 385151 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	200,173,987	1.54
8	STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	181,056,691	1.39
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	181,049,800	1.39
10	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.35

(注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 普通株式の持株比率は、自己株式708,480,105株を除いて算出しております。

■ 中長期的にめざす姿

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ
—Be the world's most trusted financial group—

1. お客様の期待を超えるクオリティを、グループ全員の方で

お客様視点を常に大切に、グローバルに変化する多様なニーズを逸早くとらえ、グループ全員の方で応えていく。社員一人ひとり・一社一社が専門性を極め、グループ一体となって連携・協働し、世界水準のトップクオリティを追求する。

2. お客様・社会を支え続ける、揺るぎない存在に

変化の激しい時代においても、お客様の資産を守り、日本社会と世界経済の健全な成長を支える。一人ひとりが築く信頼と、グループ全員で作る強固な経営基盤で、最も信頼される頑健な存在であり続ける。

3. 世界に選ばれる、アジアを代表する金融グループへ

これまで培ってきた強みを活かし、日本はもとより、アジア、そして世界においても選ばれる存在となる。多様化・ボーダレス化する社会で、変化へ積極的に対応し、一人ひとりが成長・活躍できる組織として進化を続ける。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL : <https://www.mufj.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)